

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 <<理科(理科)>>

※詳細については、資料Ⅱ(理科-6～理科-12)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい科学
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【活用問題】に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が【調べて考察しよう】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活や自然事象から想起される疑問を解決する学習活動が、【問題発見 レッツスタート!】に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が『動物の発生』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容が『防災特集』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が『お仕事大図鑑』に掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>&lt;&lt;教科・種目共通の観点&gt;&gt;</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する8項目の学習の流れが『「探究」の流れを確認しよう』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連する季節による風向きの変化についての内容が『社会科(地理)で学ぶこと』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、観察・実験に関するレポートの作成や発表の仕方が『レポートの書き方』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、エコカーに使用されている電池が『まちなか科学』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、透明半球を用いて太陽の動きの特徴を調べる学習活動が【太陽の1日の動き】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習を振り返る内容が『これまでに学んだこと』として掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、金属を熱したときの質量の変化から規則性を調べる学習活動が【データを読みとろう】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れが『実験』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【練習問題】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>&lt;&lt;各教科・種目別の観点&gt;&gt;(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が【仕事とは何だろうか。】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 科学と日常生活や社会とかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動が【学びを広げよう 自由研究】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、生活の中にあるものを使って電池を作る学習活動が【身近なものでも電池ができる!】に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 節ごとに『問題発見』や『課題』、『調べ方を考えよう』、『分析解釈』が、章末に『学んだことをチェックしよう』が掲載されている。第1・2学年は4単元、第3学年は5単元で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『すべての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 <<理科(理科)>>

※詳細については、資料Ⅱ(理科-6～理科-12)を参照。

発行者の略称	大日本	書名	理科の世界
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【章末問題】に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が【振り返ろう】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、身のまわりにあるものから課題を見つけて探究する学習活動が【探究活動】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が『生物の進化と共通の祖先』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容が『くらしの中の理科』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が『Professional』に掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>&lt;&lt;教科・種目共通の観点&gt;&gt;</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する7項目の学習の流れが『学習の見通しをもとう』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連する天文学と歴史との関係が『歴史と天文学』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、観察・実験に対するレポートの作成や発表の仕方が『結果の整理』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、遺伝子技術による医療活用が『Science Press』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、ばねばかりを使い合力の関係を調べる学習活動が【力の合成】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習を振り返る内容が『思い出そう』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、自分の住んでいる地域の天気の変化を予測する学習活動が【明日の天気はどうなるか】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れが『実習』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【やってみよう】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>&lt;&lt;各教科・種目別の観点&gt;&gt;(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が【エネルギー変換効率を調べよう】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 科学と日常生活や社会とのかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動が【自由研究にチャレンジしよう!】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、金星のモデルを作り満ち欠けを観察する学習活動が【金星の見え方を確かめてみよう】に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 章末に『章末問題』、単元末に『単元末問題』や『まとめ』、『読解力問題』が掲載され、第1・2学年は4単元、第3学年は6単元で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 <<理科(理科)>>

※詳細については、資料Ⅱ(理科-6～理科-12)を参照。

発行者の略称	学図	書名	中学校 科学
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【Can-Do List】に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が【探究を深める】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、身のまわりの題材から課題を見つけ探究する学習活動が【探究】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が『動物の受精と発生』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容が『資料』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が『SDGsを意識して脱炭素社会へ』に掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>&lt;&lt;教科・種目共通の観点&gt;&gt;</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する10項目の学習の流れが『なぜ理科を学ぶの?』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、数学科と関連して、平行四辺形の性質についての内容が『つながり 数学』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、観察・実験に対するレポートの作成や発表の仕方が『どうする、レポート』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、iPS細胞の技術が使われた再生医療が『補充資料』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、斜面に台車を滑らせ速さの変化を調べる学習活動が【斜面を下る台車の運動】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習を振り返る内容が『ふり返ろう・つなげよう』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、電熱線のはたらきと電力や時間の関係を調べる学習活動が【発熱と電力・時間】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れが示された内容が『探究』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【発展】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>&lt;&lt;各教科・種目別の観点&gt;&gt;(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返るための学習活動が【どうする、太陽の道筋】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 科学と日常生活や社会とのかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動が【思考をさらに深める】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、厚紙を使って金星を観察するためののぞき窓を作る学習活動が【金星の満ち欠けのモデル】に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 単元ごとに『Can-Do List』『学びのあしあと』、単元末に『SDGsを意識して脱炭素社会へ』『学習のまとめ』が掲載され、第1・2学年は4単元、第3学年は5単元で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《理科(理科)》

※詳細については、資料Ⅱ(理科-6～理科-12)を参照。

発行者の略称	教出	書名	自然の探究 中学理科
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。		
	① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各單元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【要点をチェック】に設定されている。		
	② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が【考察する】に設定されている。		
	③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活の中から疑問を見つけ探究する学習活動が【疑問から探究してみよう】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。		
	④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が『花粉の変化を観察してみよう』に掲載されている。		
	⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容が『私のレポート』に掲載されている。		
	⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が『ハローサイエンス』に掲載されている。		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する8項目の学習の流れが『探究の進め方』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、保健体育科と関連する自然災害発生時の対応が『学びをつなげよう』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、観察・実験に対するレポート作成や発表の仕方が『レポートの書き方』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、リチウムイオン電池の活用が『広がる科学の世界』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、ばねばかりを使って力の向きや大きさを調べる学習活動が【異なる方向にはたらく力の合力を調べる】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習を振り返る内容が『思い出そう』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、季節の天気の特徴や気象情報を利用してこれからの天気の変化を予測する学習活動が【天気の変化を予測しよう】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れが『実験』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【これまでの学習のおさらい】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が【学習したことを使って、月やその他の天体がどのように動いているかを説明してみよう。】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 科学と日常生活や社会とのかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動が【自由研究】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、ドライアイスとフィルムケースを使って等速直線運動の実験を行う学習活動が【慣性の法則を確かめよう】に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	⑲ <input type="checkbox"/> 章ごとに、はじめに『これまでの学習』『学習前の私』、章末に『要点をチェック』『学習後の私』が掲載され、第1・2学年は4單元、第3学年は5單元で構成されている。		
	⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB変型判が採用されている。		
	㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 <理科(理科)>

※詳細については、資料Ⅱ(理科-6～理科-12)を参照。

発行者の略称	啓林館	書名	未来にひろがるサイエンス
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【Review】に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が【探究のふり返り】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活の中から課題を設定し探究する学習活動が【みんなで探Qクラブ】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が『小形の魚が食べたものの観察』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容が『防災減災ラボ』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が『お仕事ラボ』に掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>&lt;&lt;教科・種目共通の観点&gt;&gt;</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する8項目の学習の流れが『探究とは』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、数学科と関連する等速直線運動における移動距離の求め方が『一次方程式』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、観察・実験に対するレポートの作成や発表の仕方が『わたしのレポート』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、微小なエネルギーを集めて有効活用するエネルギーハーベスティングが『ひろがる世界』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、複数の水溶液に電流が流れるかどうか調べる学習活動が【電流が流れる水溶液】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習を振り返る内容が『つながる学び』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、季節風の風向の違いが何に関係するのか調べる学習活動が【日本の冬や夏にふく季節風】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れが『探Q実験』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【問題】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>&lt;&lt;各教科・種目別の観点&gt;&gt;(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が【うすい塩酸の電気分解】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 科学と日常生活や社会とのかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動が【サイエンス資料】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、ポリスチレン球を用いて月の満ち欠けモデルを作る学習活動が【月の形と位置の変化を調べる観測】に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 章末に『Review』、単元末に『学習のまとめ』や『力だめし』、『みんなで探Qクラブ』が掲載され、第1・2学年は4単元、第3学年は5単元で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。メディア・ユニバーサル・デザイン協会の認証を申請中です。』と表記されている。</p>

【資料Ⅱ】

教科種目名《理科(理科)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮

東書	「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【学んだことをチェックしよう】【学習内容の整理】【活用問題】に設定されている。
大日本	「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【まとめ】【単元末問題】【章末問題】に設定されている。
学図	「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【計算問題】【学習のまとめ】【Can-Do List】に設定されている。
教出	「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【基本問題】【要点と重要用語の整理】【要点をチェック】に設定されている。
啓林館	「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【学習のまとめ】【力だめし】【Review】に設定されている。

② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮

東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が、第1学年では【学びをいかして考えよう】に、第2学年では【課題に対する自分の考えは?】に、第3学年では【調べて考察しよう】に設定されている。
大日本	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が、第1学年では【問題を見つけよう】に、第2学年では【計画を立てよう】に、【結果から考えよう】に、第3学年では【振り返ろう】に設定されている。
学図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が、第1学年では【この時間の課題】に、第2学年では【結果から考察する】に、第3学年では【探究を深める】に設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が、第1学年では【課題】に、第2学年では【仮説】に、第3学年では【考察する】に設定されている。
啓林館	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が、第1学年では【考えてみよう】に、第2学年では【活用してみよう】に、第3学年では【探究のふり返り】に設定されている。

③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮

東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活や自然現象から想起される疑問を解決する学習活動として、第1学年では身近な環境にはどのような生物がいるか探す学習活動が、第2学年ではホットケーキのふっくらとしたやわらかさを生む原因を考える学習活動が、第3学年では同じ時刻に見える星が季節ごとに変わる理由について考える学習活動が【問題発見 レッツスタート!】に設定されている。
大日本	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、身のまわりにあるものから課題を見つけて探究する学習活動として、第1学年ではメダルがどの物質でできているか調べる方法について考える学習活動が、第2学年ではイカの体のつくりから生きていくためのしくみについて考える学習活動が、第3学年では水溶液に溶けているものを確かめる学習活動が【探究活動】に設定されている。
学図	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、身のまわりの題材から課題を見つけ探究する学習として、第1学年では生物を分類する学習活動が、第2学年では露点を求める学習活動が、第3学年では身のまわりの自然環境の調査を行う学習活動が【探究】に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活の中にあるものから疑問を見つけ探究する学習として、第1学年では似ている物質の見分け方について調べる学習活動が、第2学年では熱と電気エネルギーの関係について調べる学習活動が、第3学年では遺伝子の伝わり方について調べる学習活動が【疑問から探究してみよう】に設定されている。
啓林館	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活の中から課題を設定し探究する学習として、第1学年では靴の摩擦力はどのようなときに大きくなるか考える学習活動が、第2学年では化学かいろを早く発熱させる方法について考える学習活動が、第3学年では化学電池の電圧を大きくする方法について考える学習活動が【みんなで探Qクラブ】に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④【思いやる力】他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	【思いやる力】の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が、第1学年では『裸子植物と被子植物の比較』に、第2学年では『植物の利用方法』に、第3学年では『動物の発生』に掲載されている。
大日本	【思いやる力】の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が、第1学年では『種子の運ばれ方』に、第2学年では『草食動物の消化』に、第3学年では『生物の進化と共通の祖先』に掲載されている。
学図	【思いやる力】の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が、第1学年では『植物のなかま分け』に、第2学年では『どうする、植物と動物のちがいが』に、第3学年では『動物の受精と発生』に掲載されている。
教出	【思いやる力】の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が、第1学年では『植物を分類するための図をつくり、植物を分類してみよう』に、第2学年では『葉の細胞の中のどこで光合成が行われているか調べてみよう』に、第3学年では『花粉の変化を観察してみよう』に掲載されている。
啓林館	【思いやる力】の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が、第1学年では『種子をつくらない植物の観察』に、第2学年では『血管の分布や、血液の流れを調べてみよう』に、第3学年では『小形の魚が食べたものの観察』に掲載されている。
⑤【たくましく生きる力】自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	【たくましく生きる力】の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容として、第1学年では緊急地震速報が、第2学年では急な天気の変化から身を守ることが、第3学年では釜石ではどう行動したかが、『防災特集』に掲載されている。
大日本	【たくましく生きる力】の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容として、第1学年では津波警報が、第2学年では日本にやってくる台風による被害が、第3学年では地震が起きた時の対策例が、『くらしの中の理科』に掲載されている。
学図	【たくましく生きる力】の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容として、第1学年では日本の活火山が、第2学年では山を越えて空気があつくことが、第3学年では水没したらドアは開かないことが『資料』に掲載されている。
教出	【たくましく生きる力】の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容として、第1学年では平成28年(2016年)の熊本地しんが、第2学年では令和2年7月豪雨が、第3学年では札幌市北区の洪水が、『私のレポート』に掲載されている。
啓林館	【たくましく生きる力】の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容として、第1学年では津波に備えることが、第2学年では地域の防災と減災のために活躍する防災士が、第3学年では防災・減災をめざすこと「自助・共助・公助」が『防災減災ラボ』に掲載されている。
⑥【社会とかかわる力】社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	【社会とかかわる力】の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が、第1学年ではサイエンスアーティストが、第2学年では物理学者が、第3学年では宇宙飛行士が『お仕事大図鑑』に掲載されている。
大日本	【社会とかかわる力】の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が、第1学年では水族館飼育員が、第2学年では船長が、第3学年では博物館学芸員が『Professional』に掲載されている。
学図	【社会とかかわる力】の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が、第1学年では農業に携わる人が、第2学年では林業に携わる人が、第3学年では漁業に携わる人が『SDG sを意識して脱炭素社会へ』に掲載されている。
教出	【社会とかかわる力】の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が、第1学年では塩づくり職人が、第2学年では保安検査係員が、第3学年では農業に携わる人が『ハローサイエンス』に掲載されている。
啓林館	【社会とかかわる力】の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が、第1学年では鉱山技師が、第2学年では盲導犬の訓練士が、第3学年では宇宙飛行士が『お仕事ラボ』に掲載されている。

3 内容と構成

○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮

東書	主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する8項目の学習の流れとして、第1学年では塩と砂糖と小麦粉の例が、第2学年では電磁石の例が、第3学年では麹菌の例が、『「探究」の流れを確認しよう』に掲載されている。
大日本	主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する7項目の学習の流れとして、第1学年では身近な物理現象の例が、第2学年では生物の体のつくりとはたらきの例が、第3学年では化学変化とイオンの例が、『学習の見通しをもとう』に掲載されている。
学図	主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する10項目の学習の流れとして、第1学年では仮説を立てそれを検証することの例が、第2学年では根拠に基づいて判断することの例が、第3学年では筋道を立て考え解決していくことの例が『なぜ理科を学ぶの?』に掲載されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する8項目の学習の流れとして、第1学年では5種類の水溶液の例が、第2学年では3種類の白い粉末の例が、第3学年では銅の質量と銅と結びつく酸素の質量の関係の例が『探究の進め方』に掲載されている。
啓林館	主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する8項目の学習の流れとして、第1学年ではごま塩の粒の不思議の例が、第2学年では霧が発生する仕組みの例が、第3学年では影と太陽の関係の例が『探究とは』に掲載されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)

東書	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では技術科と関連する材料の特性に合った製品作りが『技術・家庭で学ぶこと』に、第2学年では社会科と関連する季節による風向きの変化が『社会科(地理)で学ぶこと』に、第3学年では保健体育科と関連する男女の生殖機能の発達に『保健体育で学ぶこと』に掲載されている。
大日本	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では国語科と社会科に関連する万葉集の中に出てくる植物が『万葉集から見る植物』に、第2学年では保健体育科と関連する一酸化炭素が人体に与える影響が『一酸化炭素』に、第3学年では社会科と関連する天文学と歴史との関係が『歴史と天文学』に掲載されている。
学図	カリキュラム・マネジメントについて、数学科と関連して、第1学年では比例の関係が、第2学年では比例の関係における比例定数が、第3学年では平行四辺形の性質が『つながり 数学』に掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では算数科と関連する質量パーセント濃度の計算方法が『ブリッジ算数』に、第2学年では国語科と関連する宮沢賢治の作品で登場する星や灰色反応が『ブリッジ国語』に、第3学年では保健体育科と関連する自然災害発生時の対応が『学びをつなげよう』に掲載されている。
啓林館	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では社会科と関連する石器に使われる火山岩が『石基ばかりの火山岩でつくられた石器』に、第2学年では家庭科と関連する五大栄養素の種類が『五大栄養素』に、第3学年では数学科と関連する等速直線運動における移動距離の求め方が『一次方程式』に掲載されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成

東書	言語能力の育成について、観察・実験に関するレポートの作成や発表の仕方が、第1学年では「結果」と「考察」の違いの例が、第2学年では、炭酸水素ナトリウムを加熱した時の変化の例が、第3学年では、電流が流れる水溶液の例が『レポートのまとめ方』に掲載されている。
大日本	言語能力の育成について、観察・実験に対するレポートの作成や発表の仕方が、第1学年では地震による地面の揺れの伝わりの例が、第2学年では銅を加熱したときの質量の変化の例が、第3学年では微生物のはたらきの例が『結果の整理』に掲載されている。
学図	言語能力の育成について、観察・実験に対するレポートの作成の手順や発表の仕方が、第1学年では物質を加熱して分類することの例が、第2学年では、炭酸水素ナトリウムの熱分解の例が、第3学年では、土にいる微生物の例が『どうする、レポート』に掲載されている。
教出	言語能力の育成について、観察・実験に対するレポートの作成や発表の仕方が、第1学年では5種類の水よう液の区別の例が、第2学年では地層の観察の例が、第3学年では銅分の質量と結びつく酸素の質量との関係の例が『レポートの書き方』に掲載されている。
啓林館	言語能力の育成について、観察・実験に対するレポートの作成や発表の仕方が、第1学年では光が鏡ではね返るときの進み方の例が、第2学年では発電のしくみの例が、第3学年では木曾三川の水害とその対策の例が『わたしのレポート』に掲載されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では有機物から炭をつくる内容が、第2学年では生活の中で利用されている電磁誘導の技術が、第3学年ではエコカーに使用されている電池が『まちなか科学』に掲載されている。
大日本	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では光ファイバーの内容が、第2学年ではくらしを支えるセンサー技術が、第3学年では遺伝子技術による医療活用が『Science Press』に掲載されている。
学図	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では全反射の仕組みが光ファイバーで使われている内容が、第2学年では生活の中で使われているコイルの技術が、第3学年ではiPS細胞の技術が使われた再生医療が『補充資料』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年ではコンピューターの描く3DCGが、第2学年ではスーパーコンピュータを使った気象状況の数値予測が、第3学年ではリチウムイオン電池の活用が『広がる科学の世界』に掲載されている。
啓林館	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では精密測定とAI(人工知能)によるVRの内容が、第2学年では二酸化炭素を資源に変える人工光合成が、第3学年では微小なエネルギーを集めて有効活用するエネルギーハーベスティングが『ひろがる世界』に掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、第1学年では、生徒が実際にルーペを使い生物を観察する学習活動が【身近な生物の観察】に、第2学年では、抵抗器を使い電圧と電流の関係を調べる学習活動が【電圧と電流の関係】に、第3学年では、透明半球を用いて太陽の動きの特徴を調べる学習活動が【太陽の1日の動き】に設定されている。
大日本	体験活動の充実について、第1学年では、校庭周辺の生物を観察し特徴を調べる学習活動が【校庭周辺の生物の観察】に、第2学年では、空気を膨張させ雲のでき方を調べる学習活動が【雲のでき方】に、第3学年では、ばねばかりを使い合力の関係を調べる学習活動が【力の合成】に設定されている。
学図	体験活動の充実について、第1学年では、学校のまわりにいる生物を観察する学習活動が【生物の観察】に、第2学年では、酸化銅を加熱し銅を実際に取り出す学習活動が【銅を取り出す】に、第3学年では、斜面上に台車を滑らせ速さの変化を調べる学習活動が【斜面を下る台車の運動】に設定されている。
教出	体験活動の充実について、第1学年では、ピンセットを使って花を分解し観察する学習活動が【いろいろな花のつくりを調べる】に、第2学年では、炭素を使って酸化銅から銅を取り出す学習活動が【酸化銅から銅が取り出せるか調べる】に、第3学年では、ばねばかりを使って力の向きや大きさを調べる学習活動が【異なる方向にはたらく力の合力を調べる】に設定されている。
啓林館	体験活動の充実について、第1学年では、花を実際に分解し観察する学習活動が【花のつくりの観察】に、第2学年では、水温を下げて教室の空気の露点を調べる学習活動が【空気中の水蒸気量の推定】に、第3学年では、複数の水溶液に電流が流れるかどうか調べる学習活動が【電流が流れる水溶液】に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習内容の振り返りとして、第1学年では花のつくりの内容が、第2学年では雲と天気の関係の内容が、第3学年では水溶液の酸性、アルカリ性、中性の内容が『これまでに学んだこと』に掲載されている。また、高等学校の学習につながる内容が、第1学年では『救急車のサイレン』に、第2学年では『電子顕微鏡で見た細胞』に、第3学年では『電池と電気分解装置のちがひ』に掲載されている。
大日本	学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習内容の振り返りとして、第1学年では花のつくりの内容が、第2学年では物質が燃えるときに発生する気体の内容が、第3学年ではてこがつり合う条件の内容が『思い出そう』に掲載されている。また、高等学校の学習につながる内容が、第1学年では『不整合』に、第2学年では『炎色反応』に、第3学年では『運動エネルギーの大きさ』に掲載されている。
学図	学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習の振り返りとして、第1学年では植物や生物の分類の内容が、第2学年では水溶液の性質の内容が、第3学年ではメダカの受精の内容が『ふり返ろう・つなげよう』に掲載されている。また、高等学校の学習につながる内容が、第1学年では『大気中の二酸化炭素濃度』に、第2学年では『大きな分子』に、第3学年では『速さと移動距離』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習の振り返りとして、第1学年では植物のつくりの内容が、第2学年では水蒸気が温度変化により姿を変える現象の内容が、第3学年では水溶液の酸性、アルカリ性、中性の内容が『思い出そう』に掲載されている。また、高等学校の学習につながる内容が、第1学年では『牛乳は水溶液か?』に、第2学年では『化学変化における原子の質量の比』に、第3学年では『宇宙の始まりに迫るということ』に掲載されている。
啓林館	学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習の振り返りとして、第1学年では花のつくりや変化の内容が、第2学年では地球をとり巻く大気の様子の内容が、第3学年では水溶液による金属の変化の内容が『つなげる学び』に掲載されている。また、高等学校の学習につながる内容が、第1学年では『状態変化の名称』に、第2学年では『原子量』に、第3学年では『地球型惑星と木星型惑星』に掲載されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、第1学年では水とエタノールの状態変化を比較する学習活動が【グラフのかき方】に、第2学年では金属を熱したときの質量の変化から規則性を調べる学習活動が【データを読もう】に、第3学年では遺伝子やDNAに関する研究成果を調べる学習活動が【遺伝子の本体と研究成果の活用】に設定されている。また、情報を活用する際の方法や注意点が『情報収集のしかた』や『参考文献を示す』に掲載されている。
大日本	情報活用能力の育成について、第1学年では力の大きさとばねの伸びの関係を調べる学習活動が【グラフのかき方】に、第2学年では自分の住んでいる地域の天気の変化を予測する学習活動が【明日の天気はどうなるか】に、第3学年では自然環境を保全しながら科学技術を利用する方法を考える学習活動が【持続可能な社会にする方法】に設定されている。また、インターネットを利用している情報検索の方法や注意点が『情報収集・整理のしかた』や『情報を伝える科学技術』に掲載されている。
学図	情報活用能力の育成について、第1学年ではばねの伸びと力の関係をグラフに表す学習活動が【ばねの伸びと力の関係】に、第2学年では電熱線のはたらきと電力や時間の関係を調べる学習活動が【発熱と電力・時間】に、第3学年では人間の活動によって自然にどのような影響があるか考える学習活動が【人間活動と自然の影響の調査】に設定されている。また、情報の収集方法や、妥当性の判断方法、公開方法が『どうする、上手な検索』『どうする、検索結果の妥当性』『どうする、情報の公開』に掲載されている。
教出	情報活用能力の育成について、第1学年では過去の地震の記録やハザードマップをもとに話し合う学習活動が【地震災害】に、第2学年では季節の天気の特徴や気象情報を利用してこれからの天気の変化を予測する学習活動が【天気の変化を予測しよう】に、第3学年では遺伝子やDNAに関する研究成果を調べる学習活動が【遺伝子研究の現在と人間生活への応用】に設定されている。また、情報の発信の注意点が『情報モラル』に掲載されている。
啓林館	情報活用能力の育成について、第1学年では過去に起こった災害の例や仕組みを調べる学習活動が【大地の変化とわたしたちのかかわり】に、第2学年では季節風の風向の違いが何に関係するのか調べる学習活動が【日本の冬や夏にふく季節風】に、第3学年では地域でこれまでに発生した自然災害を調べる学習活動が【地域の自然災害の調査】に設定されている。また、インターネットを利用している情報検索の方法と注意点が『ICTの活用』に掲載されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れとして、第1学年では反射する光の道筋の例が、第2学年では光合成と二酸化炭素の関係の例が、第3学年では酸性、アルカリ性を示す正体の例が【実験】に掲載されている。
大日本	生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れとして、第1学年では花に共通するつくりの例が、第2学年では高気圧・低気圧の付近の特徴の例が、第3学年では季節によって見える星座が変化する理由を調べる例が【実習】に掲載されている。
学図	生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れとして、第1学年では状態変化と粒子のモデルの例が、第2学年では植物が水を運ぶつくりの例が、第3学年では1日の星の動きと観測者の例が【探究】に掲載されている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れとして、第1学年では3種類の白い物質の性質の例が、第2学年では電流を流した時間や電力と水の上昇温度との関係の例が、第3学年では力の大きさと速さの変化の関係の例が【実験】に掲載されている。
啓林館	生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れとして、第1学年では、マグマの性質と火山の形の関係の例が、第2学年では唾液のはたらきの例が、第3学年では金属のイオンへのなりやすさの例が【探Q実験】に掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【ワークシート】に、第2学年では【実験手順】に、第3学年では【練習問題】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
大日本	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【基本操作】に、第2学年では【行ってみよう！科学館・博物館】に、第3学年では【やってみよう】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
学図	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【基本操作】に、第2学年では【資料】に、第3学年では【発展】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【生物カード】に、第2学年では【要点をチェック】に、第3学年では【これまでの学習のおさらい】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
啓林館	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【はてなスイッチ】に、第2学年では【解説動画】に、第3学年では【問題】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 観察、実験などは、3年間を通じて、科学的に探究する力の育成が図られるような工夫や配慮がなされているか。	
東書	科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が、第1学年では【生物を比べてみると何がわかるだろうか。】に、第2学年では【化学変化が起こると物質の質量はどうなるだろうか。】に、第3学年では【仕事とは何だろうか。】に設定されている。
大日本	科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が、第1学年では【植物の分類を活用する】に、第2学年では【明るい豆電球はどれだ】に、第3学年では【エネルギー変換効率を調べよう】に設定されている。
学図	科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が、第1学年では【どうする、融点・沸点が一定でない】に、第2学年では【どうする、抵抗の計算(1)】に、第3学年では【どうする、太陽の道筋】に設定されている。
教出	科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が、第1学年では【学習したことを使って、クジラは、どのような動物のなかに分類できるのかを説明してみよう。】に、第2学年では【学習したことを使って、物質が燃えるとは、どのようなことかを説明してみよう。】に、第3学年では【学習したことを使って、月やその他の天体がどのように動いているかを説明してみよう。】に設定されている。
啓林館	科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が、第1学年では【動物の背骨のようすの観察】に、第2学年では【空気の体積変化と雲のでき方】に、第3学年では【うすい塩酸の電気分解】に設定されている。

⑩ 観察、実験などは、日常生活や社会とのかかわりの中で、生徒が理科の有用性を実感したり、自らの力で知識を獲得したり、また、それらを表現したりして、理解を深めて体系化していくような工夫や配慮がなされているか。	
東書	科学と日常生活や社会とのかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動として、第1学年では測定を意識した自由研究の例が、第2学年では観察を意識した自由研究の例が、第3学年では考えることを意識した自由研究の例が【学びを広げよう 自由研究】に設定されている。
大日本	科学と日常生活や社会とのかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動として、第1学年では葉脈標本の作成の例が、第2学年ではモーターの作成の例が、第3学年では指示薬の作成の例が【自由研究にチャレンジしよう！】に設定されている。
学図	科学と日常生活や社会とのかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動として、第1学年では魚類・両生類の呼吸と生活場所の例が、第2学年では台風の進路と風の例が、第3学年では化学電池の水溶液と金属の組み合わせの例が【思考をさらに深める】に設定されている。
教出	科学と日常生活や社会とのかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動として、第1学年ではスポーツに見られる力のはたらきの例が、第2学年では分子模型の作成の例が、第3学年では10億分の1の太陽の作成の例が【自由研究】に設定されている。
啓林館	科学と日常生活や社会とのかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動として、第1学年では寒天を使ったボーリング調査の例が、第2学年では魚の目のつくりの例が、第3学年では電気ペンの作成の例が【サイエンス資料】に設定されている。
⑪ 原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測など、体験的な学習活動の充実が図られるような工夫や配慮がなされているか。	
東書	原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、第1学年では銅線や鉄線を用いて作成した実験道具を使用する学習活動が【金属と非金属の性質をさらにくわしく比べよう】に、第2学年では磁石の性質を利用しリニアモーターを作る学習活動が【リニアモーターをつくってみよう】に、第3学年では生活の中にあるものを使って電池を作る学習活動が【身近なものでも電池ができる！】に設定されている。
大日本	原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、第1学年では凸レンズを用いて目の模型を作り風景を見る学習活動が【目の模型をつくってみよう】に、第2学年では風船を使い肺のモデルを作る学習活動が【肺に空気が出入りするしくみを確かめてみよう】に、第3学年では金星のモデルを作り満ち欠けを観察する学習活動が【金星の見え方を確かめてみよう】に設定されている。
学図	原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、第1学年では凸レンズの性質を使った望遠鏡を作る学習活動が【望遠鏡は凸レンズでできている】に、第2学年ではコイルと磁石を使って簡易モーターを作る学習活動が【電流が受ける力】に、第3学年では厚紙を使って金星を観察するためののぞき窓を作る学習活動が【金星の満ち欠けのモデル】に設定されている。
教出	原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、第1学年では小麦粉を溶岩に見立てて火山の吹き方を観察する学習活動が【火山のモデルをつくろう】に、第2学年ではクリップを用いて簡易モーターを作る学習活動が【クリップを使った簡単なモーターづくりにチャレンジ】に、第3学年ではドライアイスとフィルムケースを使って等速直線運動の実験を行う学習活動が【慣性の法則を確かめよう】に設定されている。
啓林館	原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、第1学年ではペットボトルの中に3種類の土を入れて液化化現象の様子を観察する学習活動が【液化化のしくみとそのモデル実験】に、第2学年では風船を使って肺の模型を作り観察する学習活動が【ヒトの肺の模型をつくってみよう】に、第3学年ではポリスチレン球を用いて月の満ち欠けモデルを作る学習活動が【月の形と位置の変化を調べる観測】に設定されている。

#### 4 分量・装丁・表記等

⑫ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	節ごとに『問題発見』や『課題』、『調べ方を考えよう』、『分析解釈』が、章末に『学んだことをチェックしよう』が掲載されている。第1・2学年は4単元、第3学年は5単元で構成されている。章のはじめとおわりに『Before & After』が掲載されている。
大日本	章末に『章末問題』、単元末に『単元末問題』や『まとめ』、『読解力問題』が掲載されている。第1・2学年は4単元、第3学年は6単元で構成されている。学習課題を提示してから観察や実験が設定され、観察や実験の結果の例が掲載されている。
学図	単元ごとに『Can-Do List』『学びのあしあと』、単元末に『SDGsを意識して脱炭素社会へ』『学習のまとめ』が掲載されている。学習内容ごとの課題に対して『この時間の課題』がページ上部に、『まとめ』がページ下部に設けられている。第1・2学年は4単元、第3学年は5単元で構成されている。
教出	章ごとに、はじめに『これまでの学習』『学習前の私』、終わりに『要点をチェック』『学習後の私』が掲載されている。各単元末には『要点と重要用語の整理』『基本問題』、巻末には『学年末総合問題』が掲載されている。第1・2学年は4単元、第3学年は5単元で構成されている。
啓林館	章末に『Review』、単元末に『学習のまとめ』や『力だめし』、『みんなで探Qクラブ』が掲載されている。巻末に『学年末総合問題』が掲載されている。第1・2学年は4単元、第3学年は5単元で構成されている。

⑩ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA B判が採用されている。
大日本	判型はB 5判が採用されている。
学図	判型はA B判が採用されている。
教出	判型はA B変型判が採用されている。
啓林館	判型はA B判が採用されている。
⑪ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。
大日本	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
学図	『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しています。』と表記されている。
教出	『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。
啓林館	『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。メディア・ユニバーサル・デザイン協会の認証を申請中です。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	第1学年：141ページ『グラスにうつるベイブリッジ』（横浜市）、222ページ『泥岩』（横須賀市）、232ページ『地層のようす』（小田原市） 第2学年：55ページ『ステンレスを用いたモニュメント』（横浜市）、306ページ『神奈川県立生命の星・地球博物館』（小田原市） 第3学年：144ページ『横浜ベイブリッジ』（神奈川県）、179ページ『川崎火力発電所のタービン軸』（川崎市）、272ページ『ハザードマップの例』（三浦市）、286ページ『火力発電』（横浜市）、293ページ『AIをとり上げる新聞記事』（横浜・都筑区）
大日本	第1学年：38ページ『コケ植物のある庭園』（箱根町）、199ページ『江の島で見られる地形』（藤沢市）、201ページ『箱根山』（箱根町）、214ページ『小田原城』（小田原市）、217ページ『火山ガスへの注意』（箱根町）、224ページ『地上で観察できる断層』（三浦市）、241ページ『しゅう曲とそのでき方』（三浦市）、242ページ『鍵屋の例』（相模原市）、244ページ『不整合』（横須賀市）、259ページ『箱根ジオパーク』（南足柄市）、279ページ『神奈川県立生命の星・地球博物館』（小田原市）、292ページ『新江ノ島水族館の写真』（藤沢市） 第2学年：237ページ『雨量が増えたときの警告看板』（相模原市）、274ページ『夏の江の島』（藤沢市）、276ページ『横浜の海』（横浜市）、300ページ『よこはま動物園ズラシア』（横浜市） 第3学年：72ページ『ジェットコースター』（横浜市）、122ページ『神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員の願い』（小田原市）、209ページ『畑に石灰をまいて土のpHを調整する人』（相模原市）、282ページ『横浜山下公園の日時計』（横浜市）、295ページ『魚道』（寒川町）、304ページ『火力発電所』（横浜市）
学図	第1学年：124ページ『光と音の発生源と距離』（横浜市）、164ページ『風化の例』（厚木市） 第2学年：54ページ『高炉』（川崎市） 第3学年：116ページ『水質検査を行う団体の実験室』（横浜市）
教出	第1学年：42ページ『博物館に展示されたさまざまな動物の骨格標本』（相模原市）、142ページ『地層の剥ぎ取り標本』（小田原市）、155ページ『柔らかい地層』（三浦市）、175ページ『海岸段丘』（三浦市）、205ページ『踏切の警報器』（鎌倉市） 第2学年：208ページ『風力発電所』（横浜市）、208ページ『火力発電所』（横浜市） 第3学年：106ページ『禅寺丸柿』（川崎市）、231ページ『ジェットコースター』（横浜市）、273ページ『河川改修が行われたいたち川』（横浜市）、295ページ『スチームハンマー』（横須賀市）、305ページ『ゼロ・エミッションに取り組む工業団地』（川崎市）
啓林館	第1学年：67ページ『断層』（三浦市）、68ページ『地層の露頭』（小田原市）、70ページ『各地域の石垣や外壁に見られる岩石』（小田原市）、71ページ『はぎとった地層（標本）の観察』（南足柄市） 第2学年：122ページ『河川沿いの遊水地』（横浜市）、173ページ『黄色くなった山肌』（箱根町） 第3学年：70ページ『夏至と冬至の、太陽の南中高度と影の長さのちがい』（川崎市）、177ページ『貨物船』（横浜市）、215ページ『ジェットコースター』（横浜市）

② 一冊ごとの重量（g）				
	冊数	1年	2年	3年
東書	3	498	596	608
大日本	3	530	568	664
学図	3	600	686	688
教出	3	616	666	728
啓林館	3	592	632	696